事業者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和４年３月25日

事業所名　　伊達市にじいろ園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	・人数に対してのスペースは確保されているが、中学生にとっては固定遊具等や活動のエリアなど年齢に合っていないものもあるため、検討していきたい。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	・7月から9月の間、常勤保育士が不足していたが、10月より適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5	1	・バリアフリー化はされていないが、個別対応が必要な児に対して台や椅子などを準備して、対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	0	・所長会議や合同事業所会議には、園長、児童発達管理責任者が参加している。月に１回は職員会議を設け、職員全員が参加している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者 等 の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	・年１回は、保護者向けのアンケートを行っている。要望の内、即対応できるものは実行し、業務改善に繋げている。 ・直ちに改善が難しいものは、本部に検討事項として伝えている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	・ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1	1	・第三者委員から直接意見を聞く機会がないため、評価を受け業務改善に努めたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	・今年度も、コロナ感染拡大のため、外部研修になかなか参加できなかった。職員会議等で内部研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	・新年度前に、保護者に現在の様子や要望等をプロフィール表に記入して提出してもらっている。また、個別療育相談を年２回実施してモニタリングを行い、計画書を見直している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	0	・標準化されたアセスメントツールは使用してない。研修を受けてアセスメントツールを利用して支援できるようにしていきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	・常勤の職員が活動プログラムを立てることが多いが、ケース会議で非常勤の職員からも意見を出してもらい、評価している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	・週刊で予定を立てなるべく固定化しないよう努めている。今年度は、ＳＳＴやビジョントレーニング、コグトレを取り入れた。運動面での活動がすくないため、体操やトレーニングなども取り入れていきたい
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	0	・長期休暇等において、日頃できない園外活動、行事等も取り入れている。土曜日は月１回程度行い、外部の講師を招いて活動するなど園外療育等を行っていたが、コロナ感染拡大のため活動する機会が少なかった。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	・子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を行っているが、計画に具体的な内容が記載されていないこともあるため、検討する。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	・午前・午後と２回ミーテングを行い、支援内容や役割分担の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0	・可能な限り当日に振り返りをするようにしているが。職員の勤務時間が異なるため、申し送りが翌日になることもある。事業日誌で確認できるようにしている

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	・記録を取り、できるだけ内容について確認し、改善に繋げるよう努力している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	・年に二回モニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。全員に相談員がついているため、サービス利用計画書を基に立案している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	8	1	0	・ガイドラインの総則を参考にしているが偏りがあるため、今後改善していきたい。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	・児童発達管理責任者が担当者会議に参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	1	・基本的に保護者を通して情報交換・連絡調整を行っている。学校の先生から電話や連絡帳を通して連絡をもらうこともある。大笹生支援学校から、伊達支援学校に移行してくるが、情報があまりわからない為、情報交換ができる場があったらいいと思う。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	3	0	・現在、直接医療機関と連携を図るケースは無いが、発達検査の所見や薬の処方については、保護者から伝達を受けている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	2	0	・就学前に利用していた事業所から利用時の情報提供を受けたり、申し送りを受けたりしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1	0	・現在、中学部までの受け入れのため、直接就労支援事業所につながることはない。他事業所に移る場合には、支援内容や情報を提供している。今後、高等部までの受け入れができるよう協議し、就労に繋がるようにしていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	0	・年に１～2 回行われている研修にできるだけ参加しているが、今年度もコロナのため、研修が行われなかった。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	2	・今のところ交流の機会がない。今年度、12 月より同じ法人の事業所が集結したので交流の機会を検討している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	1	0	・子ども部会に月 1 回参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	・連絡帳やお迎え時に伝え、共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	2	0	・ペアレントトレーニング等の研修を行っているが、今年度は参加者がいなかった。保護者会で学習会を設けて卒園児の保護者から話を聞き、将来を見据えた就労施設等見学に行く機会を設けている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程 、 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	・契約時に説明を行い交付し、変更があった際にも説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	・相談があった場合、随時対応している。個別療育相談を年 2 回行い、悩み等がないか確認するようにしている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	0	・保護者会の活動に職員も参加し、行事や活動を一緒に行っているが、コロナ感染の影響により活動する内容は制限された。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、 子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	・現時点で苦情はないが、意見や要望等があった場合にすぐに対応できるよう努めている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	・園だよりを発行し、保護者に配布している。今年度は年 2 回と少なめであった。

	㉟	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	・個人情報の使用は十分気を付け、来所者や外部に情報が漏れないようにしている。毎年、年度初めに個人情報の同意書をとっている。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1	0	・視覚的情報を用いてコミュニケーションが図れるようにしている。わかりやすい言葉で肯定的に伝えている、
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	2	・ばんかた市など、地域の行事には、参加させて頂いている。 富成地区の交流館の方が企画して、花壇に花植えやジャガイモ上などにも参加するよていになっている。 ・コロナの影響もあったが、クックボランティアやクリスマス会に手品を披露してくれるボランティア、体操教室のボランティアさんを招いて活動を行った。来年度は、地域の方と一緒に参加できる行事や活動を取り入れていきたい。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	0	・玄関に、それぞれのマニュアルを掲示してある。配布は行っておらず、確認していない保護者もいると思われるため、保護者会総会時に周知できればと思う。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	・避難訓練は年３～４回行っているが、利用日と訓練日が合わない利用者もいるため、できるだけ全員が参加できるように設定していきたい。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	・年１回は研修会を行っている。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	0	・やむ負えない場合は身体拘束も必要なことは会議等で伝えているが、具体的な対応について決まっていないため、詳しく決めていきたい。保護者にも具体的に説明し、計画書に記載するようにしたい。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2	0	・健康調査票を作成し、年度初めに記入してもらっている。今のところ医師から指示書をもらっているケースはないが、家族から伝達を受け対応している。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	・事例があった場合ヒヤリハットに記入し、職員にミーテング等で伝え、再発防止に努めている。